

一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター

多世代を巻き込んだまちづくり

多摩区ソーシャルデザインセンター（以下多摩SDC）は川崎市コミュニティ施策における区域レベルの取り組みを推進する為、2019年より検討がスタート。現在は一般社団法人として正会員55名が所属し、地元の大学生40名を中心に「コミュニティ・中間支援」の観点から精力的に活動している。今回は我々が地域をどのように巻き込んでいるかをご紹介します。

多世代を巻き込んだ「まちづくり」

（一社）多摩区ソーシャルデザインセンター

多摩区ソーシャルデザインセンター（以下多摩SDC）は川崎市コミュニティ施策における区域レベルの取り組みを推進する為、2019年より検討がスタート。現在は一般社団法人として正会員55名が所属し、地元の大学生40名を中心に「コミュニティ・中間支援」の観点から精力的に活動している。今回は我々が地域をどのように巻き込んでいるかをご紹介します。



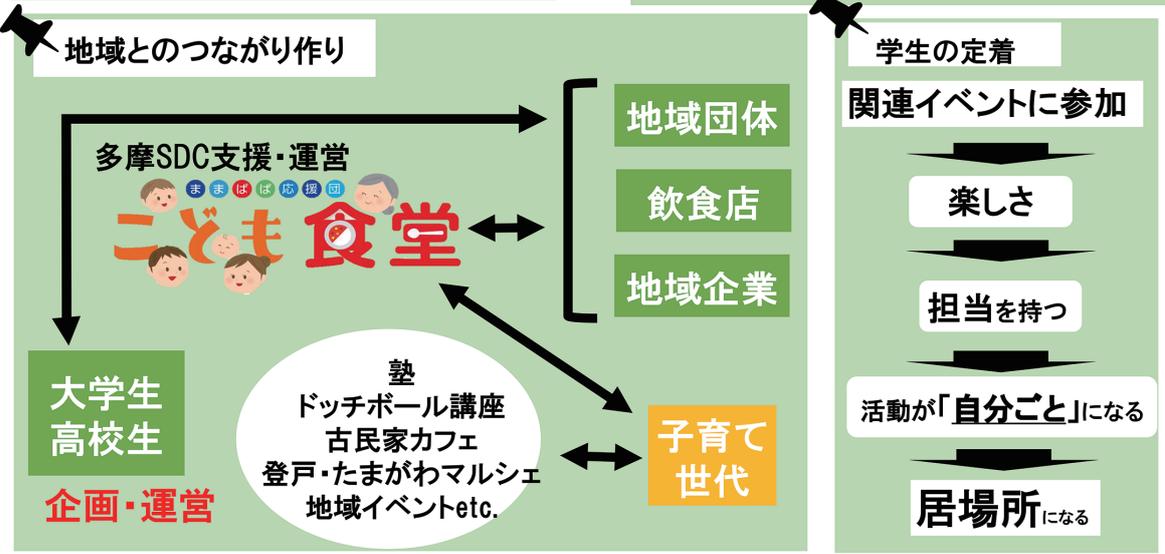
2019年4月～
「多摩区区域レベルの取り組み検討会」

元まちづくり協議会、地域福祉関係者、市民活動団体、自治会・町内会、寺子屋、大学生、近隣企業会社員など

2020年3月～
「多摩区ソーシャルデザインセンター」設立

●基本的機能●

- ①「まちのひろば」の創出（地域コミュニティ）
- ②中間支援・各種相談
- ③創発の場作り
- ④9つの機能



5万人規模のイベントを学生が主催

150名の学生ボランティア

地域**80**団体を巻き込む
(飲食店・福祉・市民団体・音楽団体・近隣学校)

どんな学生・・・？

- 地元川崎の小中高卒
- 大学で東京
- 区内3大学所属 etc.

F A S E にあてはまらない助け合いに関する活動